



ブ ッ ク ガ イ ド

Part 1 (新着資料から)

〈BOOK〉『中学生までに読んでおきたい日本文学』

(松田哲夫編、あすなろ書房、全10巻)

この全集の新聞広告を見た瞬間、意表を突くその衝撃的な表題に魅了された。全巻を通して、不思議なことに編集方針が見当たらない。挟み込みの葉に記された編者・松田哲夫氏の言葉が唯一の手掛かりである。編者は小中学生の頃を思い出し、今の自分が読んで面白い作品を選定したとのこと。なるほど独断的だが、編者の個性を反映する興味深い選定で、妙に説得力もある。読者にとって、本文中の振り仮名も豊富な脚注(イラストが絶妙で、参考になる)も頗る重宝な伴侶となるはずだ。第1巻「悪人の物語」から、第10巻「ふしぎな話」まで、平均して各巻10～15編前後の短編が収録されている。選ばれた100名近い作家中、太宰治の作品が最

多で、6作の収録だ。芥川や内田百閒、星新一、菊池寛などの著名作家は3作以上登場する。個人的には、司馬遼太郎や池波正太郎、藤沢周平なども入れてほしかった。ただし、全巻を通して「中学生までに」読むには難しすぎる作品も多く、また教育上些か収録に抵抗を感じる作品も混じっている。しかし、時代的に見て、これだけ幅のある名作短編を網羅的に揃えた日本文学全集は本邦では初めてだ(と思う)。「中学生までに」を「日本人なら」に置き換えて、誰でも手軽に楽しく読んでほしいというのが編者の真の狙いではなかろうか。

田中 研治 記

〈DVD〉『画像医学の知識と技術』

(医学映像教育センター 全5巻)

薬剤師は、一般の人々からすれば医療の専門家であり、薬学的な知識はもとより、医療従事者の一員として画像検査なども含めた医療全般の相談を受けることがあります。

たとえば、CTや超音波検査などの検査を行う際には、検査の部位や検査の方法によっては、絶食や薬剤の服用方法の変更が必要です。

そんな時に、「画像検査は専門外なので、よく分かりません」という対応を取ってしまうと、患者さんからの信用を失いかねません。

今回ご紹介するDVD「画像医学の知識と技術」は、X線検査、CT検査、MRI検査、核医学検査、超音波検査の全5巻から成っており、各検査ごとに、検査の原理、検査の目的、

実際の検査風景が収録されており、臨床現場が具体的にイメージできる内容となっています。

各DVDの巻末には一般患者さんに検査方法を説明することを想定したチャプターも収録されていますので、全く知識のない方にも理解できるよう工夫がなされています。

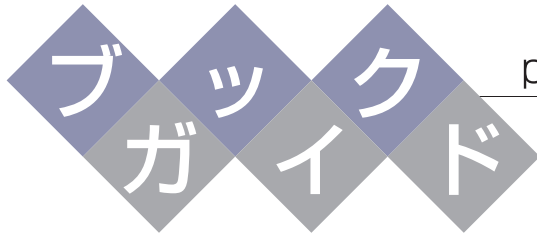
実際にゼミ学生の方々にも見てもらいましたが、非常に分かりやすい内容で画像医学が身近に感じられるようになったと好評でした。

薬学のみでなく、画像検査などの幅広い知識を得るために、DVD教材を通じて学生時代から画像医学を体感することは非常に大切だと思います。

三木 生也 記

もくじ C O N T E N T S

ブックガイド(新着資料から)	グラフと表で見る図書館統計	6~7
田中研治・三木生也	OPACからの予約について	7
ブックガイドpart2(専門分野別)北河修治	薬剤師のためのDI資料(26)長嶺幸子	8
図書館長に就任して 畑 公也	2012年度学術雑誌について	8
受入図書から	お知らせ	8



part 2 (専門分野別) BOOK GUIDE

『製剤学の学習の本』

北河 修治
(製剤学研究室 教授)



製剤学関連の講義、3年前期「創薬物理製剤学」、3年後期「製剤設計学」、4年前期の「機能性製剤学」の教科書として、現在、ベーシック薬学教科書シリーズ20「製剤学」第1版、北河修治編、化学同人、2008年、を使用しています。ベーシック薬学教科書シリーズは、薬学部学生向けの「基本的な教科書」であることを念頭に入れ、すべての薬学生が身につけておかなければならない基本的な知識や主要な問題を理解できるように要点をしぼって執筆編集されています。また、薬学教育モデル・コアカリキュラムの内容を十分視野に入れながら作成されており、「C16 製剤化のサイエンス」の(Ⅰ)「製剤材料の性質」、(Ⅱ)「剤形をつくる」、(Ⅲ)「DDS (Drug Delivery System、薬物送達システム)」の内容を取り扱っています。「創薬物理製剤学」、「製剤設計学」、「機能性製剤学」では、それぞれ上記(Ⅰ)、(Ⅱ)、(Ⅲ)に対応した講義を行っています。

(Ⅰ)「製剤材料の性質」では製剤化の基礎となる、物質の溶解、分散系、製剤材料の物性について学びます。(Ⅱ)「剤形をつくる」では、代表的な製剤、製剤化、製剤試験法について学びます。(Ⅲ)「DDS」では、DDSの必要性、ターゲティング、プロドラッグ、そのほかのDDSについて学びます。製剤学の教科書は、数年毎の日本薬局方の改正に伴って改定されます。このベーシック薬学教科書シリーズ20「製剤学」も第16改正日本薬局方の施行に合わせて第2版の編集作業を進めています(平成24年9月出版予定)。第2版では、第16改正日本薬局方で大きく変更された製剤総則にしたがって剤形が記載されるとともに、「DDS」において、遺伝子

デリバリーや分子標的薬等の最新のDDSについても学べるように編集されます。

指定参考書としては、「NEW パワーブック物理製剤学・製剤学」第2版、金尾義治、北河修治編集、2012年、を取り上げています。この本はページ数がベーシック薬学教科書シリーズ「製剤学」の約2倍あり、構成も大きく異なっています。特に、(Ⅰ)「製剤材料の性質」の内容がより詳しく理解できるよう基盤となる物理化学の内容もできるだけ盛り込んでありますので、是非参考にして下さい。各章末には、正誤問題、CBT問題、薬剤師国家試験も豊富に掲げられていますので、これらも参考にして下さい。

この分野では数式を扱うことが多いですが、計算問題の苦手な学生には、「重要公式を用いたわかりやすい製剤学計算問題の解き方(物理製剤学製剤学編)」、寺田勝英、高山幸三編、ネオメディカル、2006年、が参考になると思います。今年度は指定参考書とはしていませんが、図書館に何冊か置いてありますので、是非とも利用して下さい。

製剤学関連講義としては、他に6年前期「医薬品開発」と選択科目として、5、6前期「化粧品学」があります。「医薬品開発」では、医薬品開発と生産のながれについて学びます。教科書としては、スタンダード薬学シリーズ8、「医薬品の開発と生産」、日本薬学会編、2005年、を使用しています。化粧品科学を学ぶ「化粧品学」では教科書は特に使用しません。指定参考書として、「化粧品科学ガイド」第2版、田上八朗他監修、フレグランスジャーナル社、2010年、をあげていますので、参考にして下さい。

図書館長に就任して

図書館長 畑 公也
(人文科学研究室 教授)



田中研治先生の後を受けて、この4月から図書館長に就任することになりました。神戸薬科大学図書館は、教育、研究の中枢を担う情報センターとして、全国の薬系大学図書館の中でもとりわけ強力な機能を有する図書館であるとの評価を得ています。それは歴代館長、図書館職員、図書館運営委員のご尽力と教職員の皆様のご協力の賜物と言えます。このよき伝統を継承し、図書館機能の更なる充実、発展を目指して、微力ながら全力を尽くして職務に当たりたいと思います。どうぞご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

近年課題となっていたEJ化（冊子体研究誌から電子媒体への移行）の問題に関しては、かなりの程度まで進展していると伺っております。今後は利用者の皆様の利便性に十分配慮しながら、その完成形を模索しなければならないと考えております。

EJ化と関連することですが、これもまたすべての図書館にとって永遠の課題と言える「書庫スペース確保」の問題があります。限られたスペースを最大限に活用するためには、書籍や資料の保管・廃棄に関する明確な方針がなければなりません。しかし、無理のないかたちでそれを実現するのは実際には容易なことではありません。幸いにも本図書館は、目下のところこの点に関して差し迫った状態には立ち至っていないようですが、問題を放置するわけにはいきませんから、解決に向けて何らかの道筋をつけることができれば、と願っております。

また本図書館は昨年度から、図書館業務の一部業務委託を開始しました。様々な業務に関して段階的に進められており、現在は問題なくスムーズに進行しているようですが、「利用者が利用し易い図書館」の実現のために十分な検証を積み重ね

ながら、その理想的なかたちを模索していきたいと思っております。

以上、問題点をいくつか列挙してみましたが、最後に大学図書館と学生について日ごろ考えていることに触れておきたいと思っております。学生諸君がよく利用する施設として食堂、談話室と並んで図書館が挙げられていると聞きました。たいへん嬉しいことです。試験勉強のためであるにせよ、好きな小説を読むためであっても、動機はともかく、図書館に足を運んでもらえれば、そこにはきっと何がしかの出会い、つまり本との出会いがあるはずですよ。どんな本でも結構です。本は自分で能動的に一字一句追っていかねば頭に入りません。そこをクリックするだけで、情報があふれ出すネット検索とは違うところでしょう。今、全国の大学で「自分で考える力」の必要が叫ばれています。どうすればその力を涵養することができるのでしょうか。情報はいくらでも容易に集められます。それを取捨選択して、有効利用するには自分の頭に頼るしかありません。つまり「検索より思索を」です。その能力を養う一番の方法はやはり本を開いて、地道に一字一句躓きながら、自分の頭をフル回転させることではないでしょうか。なかには本を読むことに対してある種のアレルギーを持っているひとがいるかもしれません。そんなひとでも、とにかくふらっと図書館に足を運んでもらえれば、本とのどんな出会いの可能性が開かれるかわかりません。そういう意味で、図書館が学生の皆さんにとって、より近い存在になってもらえれば、と願っております。

利用者が利用し易い図書館であるためには、より「開かれた」図書館でなければなりません。皆様からより多くのご意見、ご教示をいただきますようお願いいたします。

受入 図書 から

2011年(平成23年)2月~2012年(平成24年)1月

書名	著(編)者名	出版社
科学技術系のライティング技法	小山透	慶應義塾大学出版会
化学英語文献への誘い	伊藤浩一他	三共出版
これならわかる液体クロマトグラフィー	松下至他	化学同人
天然物合成で活躍した反応	有機合成化学協会	化学同人
顕微鏡の使い方ノート	野島博	羊土社
臨床試験に関わる医療者のための医療心理学入門	有田悦子他	メディカル・パブリケーションズ
忙しいアナタのためのレスQ!医療統計学	高橋信	東京図書
ナラエビ医療学講座	斎藤清二	北大路書房
臨床研究のための倫理審査ハンドブック	笹栗俊之他	丸善出版
演習問題で学ぶ漢方薬処方マスター	入江祥史	中外医学社
思いもしなかった健康食品と薬の相互作用	藤村昭夫	永井書店
薬剤師のための医薬品副作用入門	増原慶壮他	じほう
やさしい薬理のメカニズム	中原保裕	学研メディカル秀潤社
薬学生・薬剤師のための臨床検査・最新病態検査	岡部紘明他	自然科学社
わかりやすい臨床検査医学	篠原力雄	廣川書店
基礎からわかる服薬指導	浜田康次他	ナツメ社
保険薬局のためのハイリスク薬説明支援ガイドブック	堀美智子	じほう
薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント	濱田久之他	南江堂
薬剤師として身につけておきたい老年薬学プラクティス	福島紀子	南江堂
循環器治療この薬をつかう本当の理由(わけ)	村川裕二	文光堂
薬剤師だからできる!しっかり吸入指導	福田早紀子他	メディカ出版
精神科薬物療法の管理(薬剤師の強化書)	日本病院薬剤師会精神科病院委員会	南山堂
がん化学療法レジメンハンドブック	遠藤一司	羊土社
問題解決技法に基づいたがん薬物療法トレーニングブック	井上忠夫他	じほう
抗がん剤は効かない	近藤誠	文芸春秋
医師のレジメン選択の根拠がわかる症例で学ぶがん薬物療法	山内照夫他	メディカ出版
コ・メディカルのための医事法学概論	野崎和義	ミネルヴァ書房
チームマネジメントの知識とスキル	篠田道子	医学書院
食卓にあがった放射能	高木仁三郎他	七つ森書館
はじめて学ぶ臨床栄養管理	鈴木彰人	南江堂
CDCガイドラインに学ぶ感染対策	矢野邦夫	南江堂
薬学生 dead or alive	榎本秀一他	京都廣川書店
Anthony先生の耳で覚える薬学英语	アンソニー・FW.フォン他	講談社
薬学生のための臨床実習マニュアル	松田重三	医学評論社
薬学生・薬剤師のためのヒューマニズム	後藤恵子他	羊土社
詳説薬剤経済学	恩田光子他	京都廣川書店
薬剤師が知っておきたい法律・制度	白神誠	じほう
調剤薬局運営パーフェクトマニュアル	アインファーマシーズ	日経BP社
ジェネリック医薬品講座	邊見公雄他	ぎょうせい
セルフメディケーションのためのくすりの話	那須正夫	大阪大学出版会
知っておきたい薬害の知識	日本公定書協会	じほう
OTC医薬品対応マニュアル	徳山尚吾他	薬事日報社
日本で承認されていない薬を安全に使う	寺岡 章雄他	日本評論社
薬物動態を推理する55Question	菅野彊	南江堂
最新創薬インフォマティクス活用マニュアル	奥野恭史	メディカルドゥ
創薬の分析化学	日本分析化学会	丸善出版
図解臨床調剤学	一川暢宏他	南山堂
薬学生・薬剤師のための調剤と服薬指導ガイド	中村房子	学研メディカル秀潤社
アロマセラピー&メディカルハーブ	林真一郎	南山堂
地域医療薬学	大和田榮治他	京都廣川書店

(化学、医学、薬学分野より一部抜粋)

『人生がときめく片づけの魔法』

近藤麻理恵著 サンマーク出版

書類や身の回りのものを仕分けたり、整理したりしているのに、いざ必要となると場所が分からず、あちこち時間をかけて探すことになり、ストレスが溜まってしまった経験はありませんか。著者によると、これは整理法が悪いのではなく、物の持ちすぎが原因です。モノを捨てる基準は、「触ったときにときめくか」どうかで、ときめかないものは「～してくれてありがとう」と感謝して捨てるよう勧めています。片づけや収納の考え方が新鮮で、片づけが苦手な方やすぐにリバウンドする方にオススメの本です。

(T)



『不死細胞 ヒーラ ヘンリエッタ・ラックスの永遠なる人生』

レベッカ・スクルト著 中里京子訳 講談社

ポリオワクチンの開発、クローニング、遺伝子マップの作成をはじめ、幾多の医学の重要な進歩に貢献してきたヒーラ細胞は、黒人女性ヘンリエッタ・ラックスから採取された。本書は、ヒーラ細胞誕生に纏わるノンフィクションである。癌遺伝子の研究、細胞培養などの科学の進歩やヒーラ細胞による汚染問題、また人体実験、血液や組織を採取する研究に対する規制の在り方、宗教についてなど幅広い知識を提供してくれる。

(L)



『下町ロケット』

池井戸潤著 小学館

ロケットの打ち上げが夢だった主人公だが、念願の開発に携わったロケットの打ち上げ実験が失敗する。研究をやめ、亡き父親の小さな町工場を継ぐが…。

ひたむきに夢を追い掛ける主人公がかっこいい！登場人物は中年やら壮年の男性ばかりだが、青春ものと言っても良いくらい一生懸命で爽やか。特に、工場内で方針の違いが顕わになったときの主人公の決断には痺れた。自分のやりたいことを見失わずに生きて行ける人は素敵だ。

(実滝有)



『図書館戦争』

有川浩著 角川書店

「念願の図書館に採用されて、私は今 —— 毎日軍事訓練に励んでいます」この世界とは少し違った歴史を歩んだ日本を舞台に、本を国の検閲から守る図書館隊の物語。本を狩る良化委員会と図書館隊との熱い戦い。図書館隊の激務と笑いの日々。そして登場人物たちの、あま～いラブコメ。心躍る熱い展開と、思わず顔がにやける甘い展開の両方を味わえる、オススメの一冊です。

(T.H.)



『ガラパゴス化する日本』

吉川尚宏著 講談社

日本、日本社会、日本人が南米大陸から離れたところに位置するガラパゴス諸島のようになりつつある。日本人は外に出て行かない。国内だけで勝負しようとする。このような消極性を筆者は携帯端末の有名な例から製造業や非製造業の例、さらに日本の若者まで例に挙げて説得的に説明する。これではこれから先の日本は危ない。筆者はこれから日本が取るべき行動を指南する。非常に現実味を帯びた提案である。

(Samantha)



『あつあつを召し上げれ』

小川糸著 新潮社

運命の料理とのふいの出会いを描いた、あたたかく心にしみる7つの短編小説で構成されています。どの物語を読んでも、人生の節目と食べ物が大きく関わり、食べることで生きることはつながっているのだなあ、としみじみ感じました。また、料理の描写はとても詳細に描かれています。読み終えた後は、大切な人との思い出に浸るのもしいかもしれませんね。

(M)



グラフと表で見る 図書館統計

(2012年2月29日現在)

読書マラソン集計

読書マラソン開始 2007年4月1日
 総提出枚数 3641枚
 総参加者数 112名

★2010年・2011年人気タイトル

	順位	タイトル	著者	提出枚数
2010年 1月～12月	1	阪急電車	有川浩	5
	2	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら	岩崎夏海	4
	3	植物図鑑	有川浩	3
	3	レインツリーの国	有川浩	3
	3	終末のフール	伊坂幸太郎	3
	3	チルドレン	伊坂幸太郎	3
	3	モダンタイムス	伊坂幸太郎	3
	3	食堂かたつむり	小川糸	3
	3	強運の持ち主	瀬尾まいこ	3
	3	バターはどこへ溶けた?	ティーン・リップウッド	3
	3	新参者	東野圭吾	3
	3	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	3
	2011年 1月～12月	1	ストーリー・セラー	有川浩
2		図書館戦争	有川浩	5
2		図書館内乱	有川浩	5
4		植物図鑑	有川浩	4
5		キケン	有川浩	3
5		三匹のおっさん	有川浩	3
5		図書館革命	有川浩	3
5		図書館危機	有川浩	3
5		別冊図書館戦争1	有川浩	3
5		別冊図書館戦争2	有川浩	3
5		オー!ファーザー!	伊坂幸太郎	3
5		神様のカルテ	夏川草介	3
5		神様のカルテ 2	夏川草介	3
5	Nのために	湊かなえ	3	

★2010年・2011年人気著者

	順位	著者名	提出枚数
2010年 1月～12月	1	東野圭吾	29
	2	伊坂幸太郎	22
	3	有川浩	20
	4	Darren Shan	11
	5	モーリス・ルブラン	10
	6	瀬尾まいこ	9
	7	海堂尊	7
	8	吉本ばなな	6
	8	森見登美彦	6
9	石持浅海	5	
2011年 1月～12月	1	有川浩	56
	2	伊坂幸太郎	11
	3	森見登美彦	10
	4	神永学	9
	5	村上春樹	8
	5	海堂尊	8
	7	湊かなえ	7
	7	東野圭吾	7
	9	夏川草介	6
9	畠中恵	6	

(枚)

総提出枚数

2010年1月～12月：390枚

2011年1月～12月：360枚

(枚)

★これまでのPOPカード50枚以上達成者(人)

	50枚以上	100枚以上	400枚以上	600枚以上	合計
6年生	1	2	1	1	5
5年生	3	3			6
4年生	3				3
3年生	2				2
2年生					
1年生					
卒業生など	1	3			4
合計	10	8	1	1	20

集計期間：2007年4月1日～2012年2月29日
 学年は2012年2月現在のものです。

読書マラソンPOPカードの提出枚数から人気タイトルと著者を挙げてみました。

生協と図書館とで協力して進めてきた読書マラソンですが、5年目の今年には登録人数も100人を超え、受付けたPOPカードは2月末現在で3641枚となりました。人によっては難解と言われる本にじっくり取り組んだり、年間100冊以上読破してみたりと、それぞれのペースで参加されています。

提出されたPOPカードは、定期的に図書館HPや館内に掲示をしています。こうした掲示は読む本を見つける一つの機会として一定の効果は上げていると感じています。カードを見て同じ本を探す人や同じ本で感想を書く参加者も見受けられます。

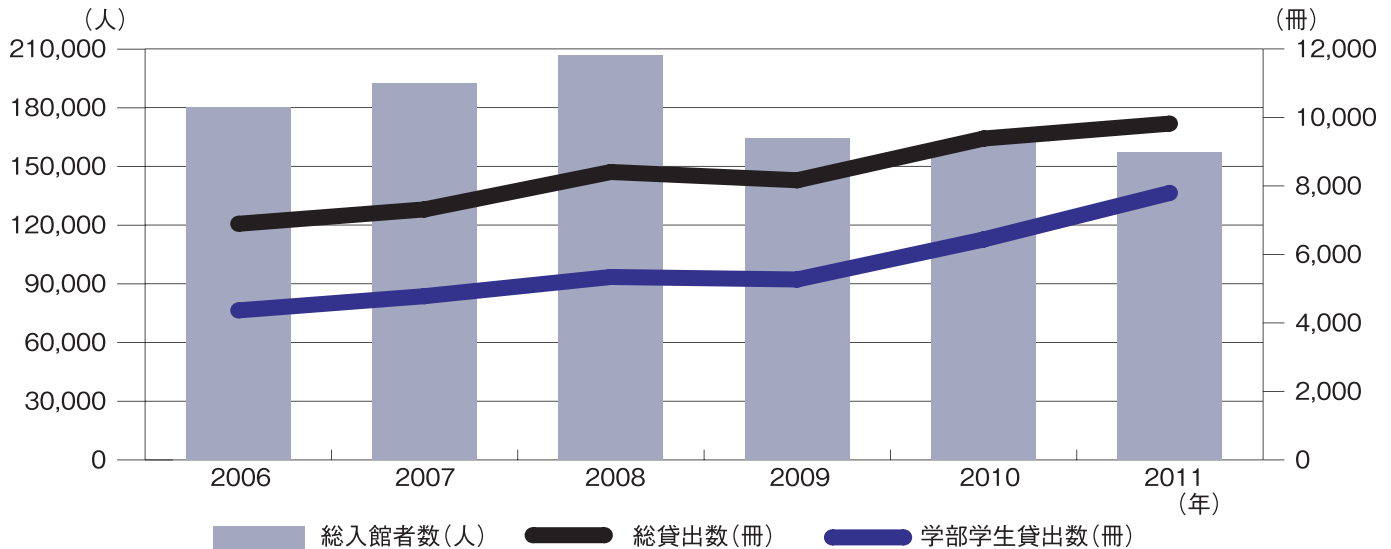
提出されたカードを見てみると、その時の流行りがよく分かります。特にテレビドラマや映画で話題になった作品は手に取られることが多く、感想も多いです。また、シリーズものは1巻を読むと、2巻、3巻と読み進めたいくなるものです。有川浩の図書館戦争シリーズ、東野圭吾のガリレオシリーズ、海堂尊のバチスタシリーズなど続刊の多く出ている図書は、その人気ぶりが今回のランキングでも顕著に表れています。

本を読んだ後、誰かに感想を言いたいときはありませんか？

その思いを100字に込めてください。

提出して頂いた枚数に応じてプレゼントもあります。在学中の100冊完走を目指してあなたも参加してみませんか！

入館者数と貸出冊数



年	入館者数の合計(人)	総貸出数(冊)	学部学生貸出数(冊)	学部学生数(人)	学部学生一人あたり貸出冊数(冊)
2006	180,261	6,894	4,365	1,210	3.61
2007	192,408	7,314	4,781	1,256	3.81
2008	206,530	8,406	5,341	1,242	4.30
2009	164,251	8,165	5,268	1,237	4.26
2010	162,171	9,383	6,436	1,446	4.45
2011	156,982	9,819	7,796	1,736	4.49

電子ジャーナルの充実や各種データベース導入による非来館型図書館サービスの拡充により、最近の入館者数は減少傾向にあります。

また、2008年の11号館竣工による学生自習室の新設や試験期における講義室の開放など、学内の学習スペースが増加し、ますます充実してきました。自習の場として図書館以外の、学生自習室（1号館・11号館）、談話室、K P U L Aなども、目的に応じて上手に使い分けられているようです。

一方、学部学生の皆さんの貸出冊数は、学生数の増加とともに上昇しています。

図書には、Web上の情報とは違って、学習に必要な情報を体系的に得ることができるという利点があります。是非来館して、図書を活用しながら効果的な学習をされることをお勧めします。

OPACからの予約をご利用の皆様へ

予約された資料が返却された時のお知らせは、原則としてWebメールで行います。

★Webメール以外の連絡方法をご希望の場合は、※携帯電話など普段お使いのメールアドレスをご登録いただくか、通信欄にメールアドレスや「掲示希望」などを入力してください。

※登録方法

- ① 図書館ホームページのマイライブラリにログイン。
利用者ID・パスワードはWeb掲示板やWebメールと共通です。
不明の場合は情報支援室へお尋ねください。

② **設定変更** → **メールアドレス**

登録したいメールアドレスを入力 → **登録**

薬剤師のためのDI資料 26

『薬剤師として身につけておきたい老年薬学プラクティス』

福島 紀子 編集
南江堂 2011

高齢社会を迎え、高齢者医療と介護が連携した地域医療の充実が求められてきている中で、薬剤師も高齢者の医療・福祉に深く関わるのが今後必要になってくる。地域医療における多職種連携の中で、薬剤師には医薬品の適切かつ、きめ細かい配慮を伴う投与設計や服薬支援、副作用の早期発見、医薬品服用後の経過観察など、専門性の高い知識と技術が求められている。

本書は、高齢者を取り巻く社会の問題点、加齢に伴う生理的機能の変化や障害、加齢に伴う薬物動態の変化や、高齢者の投与設計に必要な知識等が分かりやすく解説されていて、高齢者医療に関わる際に役立つ内容となっている。その他高

齢者に特に注意しなければならない服薬支援や、特に注意したい副作用とその理由など、高齢者をサポートするために必要な知識が、Q & A 方式を取り入れ、分かりやすく解説されている。又在宅医療を実施していく中で必要となる経腸栄養、褥瘡治療、がん性疼痛管理の知識や技術、認知症の患者さんに関わるときに必要な知識についても、詳しく解説されている。今後、薬剤師が高齢者医療に関わっていく時に、必要な知識や技術が分かりやすく解説されていて、すぐに役立つ実践的な内容となっている。

長嶺 幸子 記

2012年度学術雑誌について

● 新刊講読

〈和雑誌〉

- 【1】 核医学

● 購読中止

〈和雑誌〉

- 【1】 植物の生長調節
【2】 治験医歯薬情報

〈シリーズ図書〉

- 【1】 Progress in Drug Research
【2】 Progress in Molecular Biology and Translational Science

〈医薬品集・薬局方〉

- 【1】 Pharmacopea Helvetica

- 【2】 Deutsches Arzneibuch
【3】 Europaisches Arzneibuch
【4】 Pharmacopee Francaise

● 電子ジャーナルコンソーシアム参加

- 【1】 American Chemical Society (継続)
【2】 Wiley-Blackwell (継続)
【3】 Nature (継続)
【4】 Oxford University Press (継続)
【5】 Rockefeller University Press (継続)
【6】 Science Online (継続)
【7】 ScienceDirect (継続)
【8】 SpringerLink (継続)
【9】 Thieme (新規)

お知らせ

- 図書館からの連絡方法は、原則 Web メールを使用します。資料の予約や購入希望をされた際には、必ず Web メールを確認してください。
- 「暮らしと放射線」のテーマ展示を始めました。専門家が選定した資料を展示し、貸出も可能です。
- プチ情報探索講座を随時受け付けています。情報探索でわからないこと、困っていることがありましたら、お気軽にご相談ください。お一人からでもご希望の日時で開催します。
- 4階の視聴覚室に、ブルーレイ対応の機器が設置されました。
- 3階閲覧室の「世界の薬局方・医薬品集」コーナーをリニューアルしました。
- 一般雑誌「Clinical pharmacist」(メディカ出版)を購読開始しました。
- 1ページブックガイドへご寄稿いただいた、三木生也先生は平成24年3月31日付で退職されました。

神戸薬科大学図書館ニュース No.43

編集・発行 神戸薬科大学図書館

2012年(平成24年)4月1日発行

神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号 (〒658-8558)
TEL (078) 441-7512 FAX (078) 435-2080
URL <http://www.kobepharmaceutical.ac.jp/library>